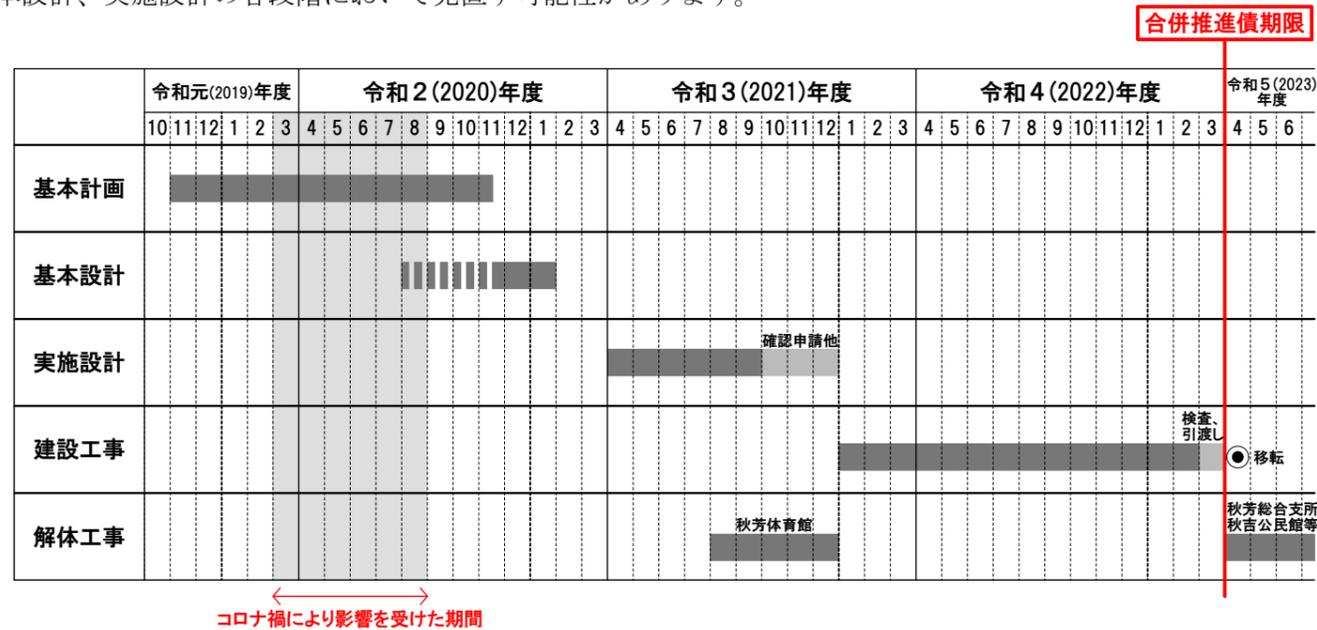


事業手法

事業手法については、行政主体の「設計・施工分離発注方式(従来方式)」、「設計・施工一括発注方式(DB方式)」、「技術協力・交渉方式(ECI方式)」と民間主体の「PFI方式」、「リース方式」を比較検討した結果、「設計・施工分離発注方式(従来方式)」が最も適していると判断しました。

事業スケジュール

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、基本構想策定時に想定した事業スケジュールを見直しました。本施設の完成時期は、合併推進債の期限の2022年度末を目標とします。ただし、スケジュールについては基本設計、実施設計の各段階において見直す可能性があります。



概算事業費

現段階で想定(工事費単価:税込48万円程度)している概算事業費を以下に示します。ただし、今後の物価の動向を踏まえ、設計・発注段階において見直す可能性があります。

項目	金額
建設工事費	585,600
その他	306,100
合計	891,700

項目	金額
秋芳体育館解体工事費、プール更衣室棟建設工事費、調査・設計・監理等	136,000

財源の検討

本施設の整備に当たっては、合併推進債および過疎対策事業債を主な財源とします。その他の補助事業についても活用を検討し、将来的な財政負担の軽減を図ることとします。

お問い合わせ先:
美祢市秋芳総合支所 総合窓口課 〒754-0511 美祢市秋芳町秋吉5335-1 TEL 0837-62-1912 FAX 0837-62-1828

1 新秋芳総合支所庁舎等整備計画の背景

新秋芳総合支所庁舎等整備計画の必要性

現在の秋芳総合支所庁舎は、昭和32年に建設された旧耐震基準の建物で、老朽化が進行しています。今後も安心して使い続けるには、大規模な耐震改修工事などが必要です。また、周辺に立地する秋吉公民館、秋芳図書館、秋芳体育館などの公共施設も同様に安全性に不安を抱えています。

このため、市では新総合支所庁舎等整備基本構想に基づき、住民のくらしの利便性を向上させるために、総合支所、公民館、図書館機能を複合して、コンパクトで効率の良い施設とし、さらに民間施設との複合も図りながら、地域の新しい拠点づくりを進めています。

新秋芳総合支所庁舎等整備基本計画の検討経過

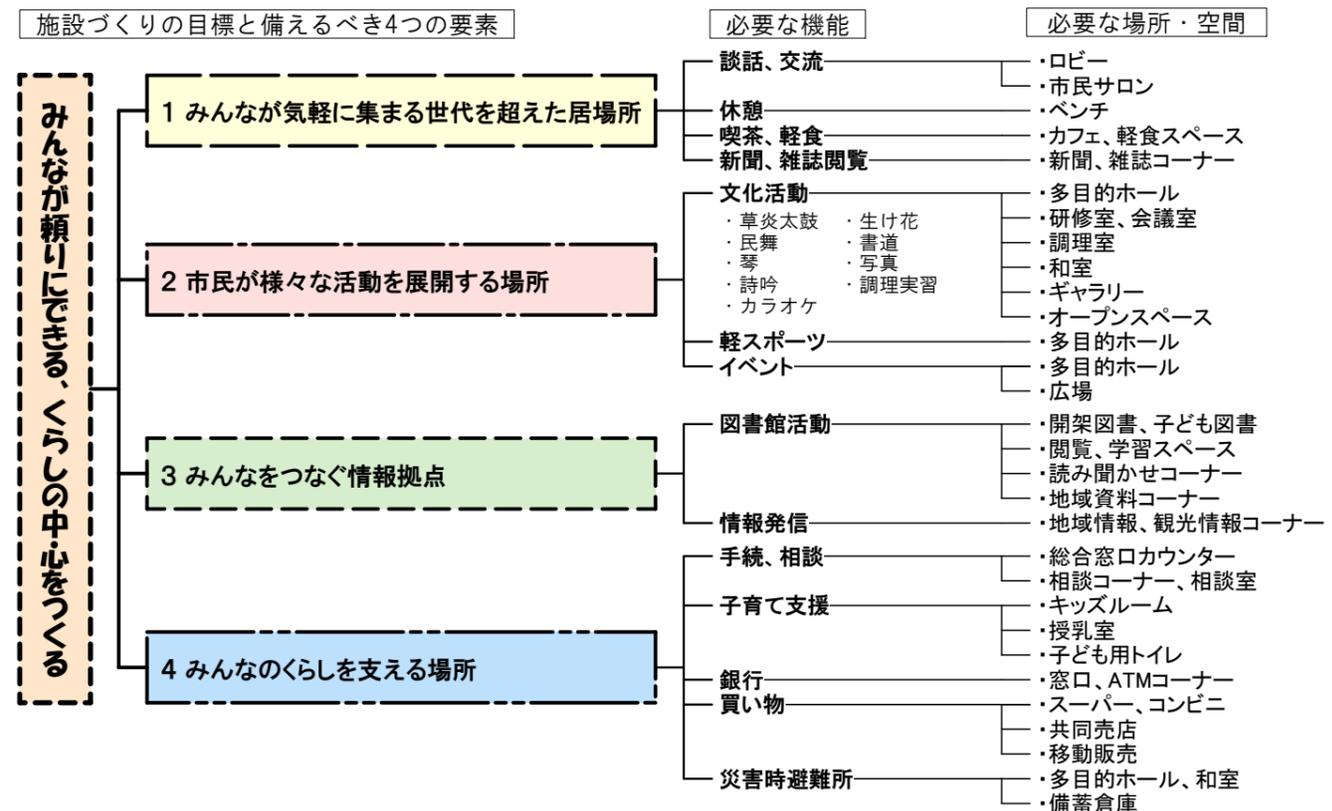
高齢化の進行、出生率の低下、人口減少といった課題を抱える中で、秋芳地域に新しいくらしの中心をつくり直すことが喫緊の課題となっています。そのために住民、行政、計画者が、市民ワークショップなどでの議論を重ね、協働して施設づくりの目標や、必要な機能を検討し、基本計画をまとめました。



2 新秋芳総合支所庁舎等整備計画の基本的な考え方

新秋芳総合支所庁舎等整備の目標

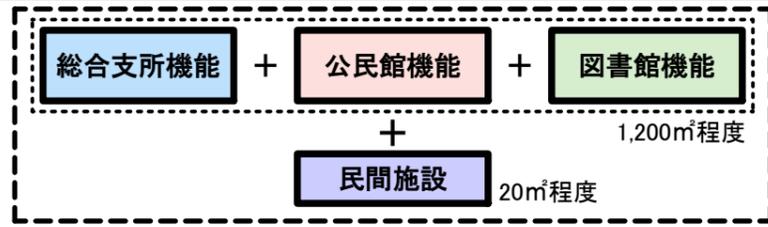
市民ワークショップでの議論をもとに、施設づくりの目標や、目標を実現するために備えるべき4つの要素と、それぞれの要素に必要な機能、必要な場所・空間についての考え方を共有しました。



3 秋芳地域の複合施設(新秋芳総合支所庁舎等)の整備方針

複合化の考え方

3つの公共施設(総合支所機能・公民館機能・図書館機能)と、民間施設を複合させ、前項に示す施設づくりの目標を実現するための4つの要素を満たした施設とし、秋芳地域の新しいくらしの中心をつくり出す



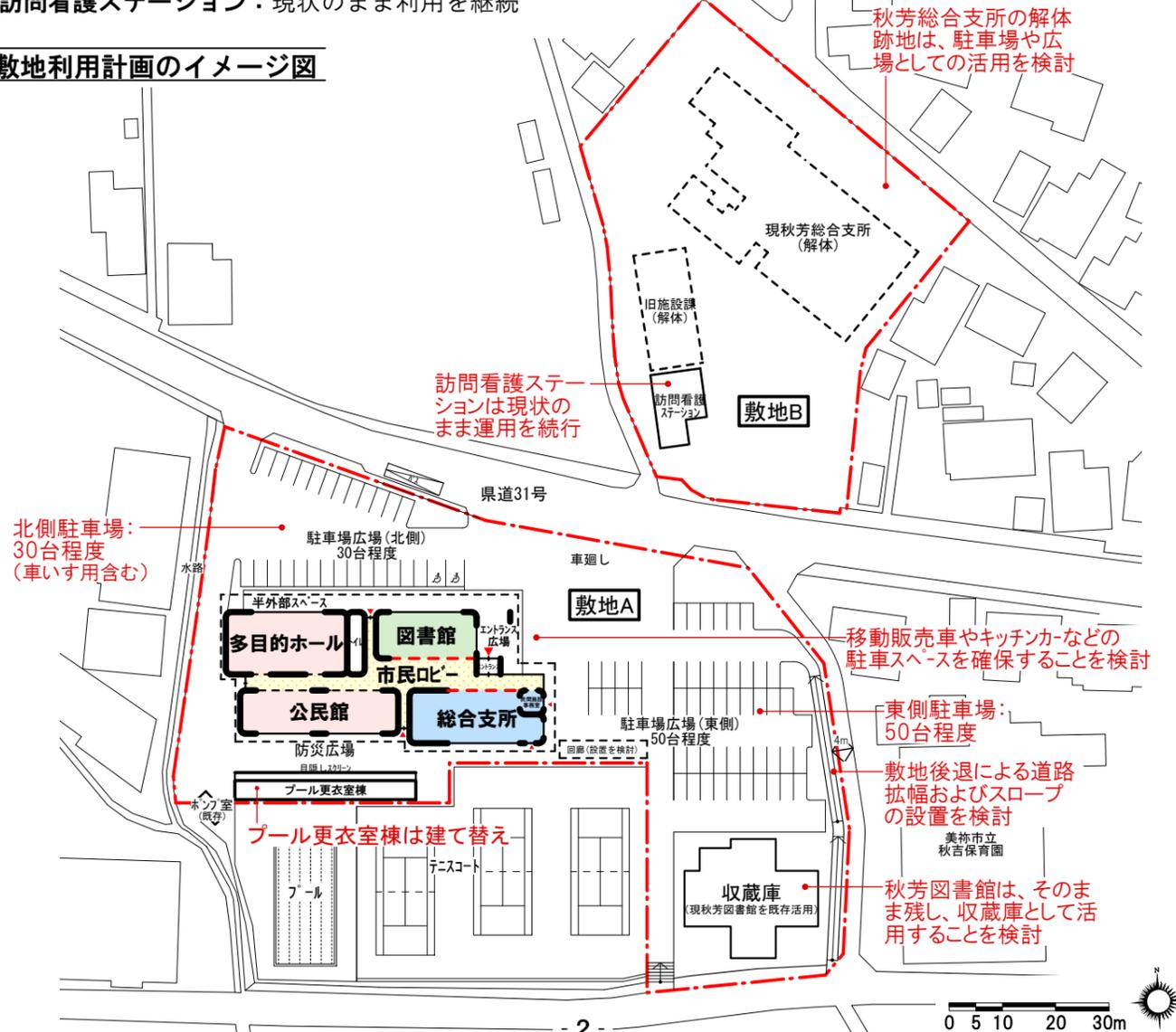
複合施設の建設場所

- 建設場所：秋芳体育館の解体跡地
- 体育館機能の継承についての考え方：
 - ・地域の文化活動の拠点として、多目的ホールを複合して整備
 - ・バレーボールなどのスポーツは、秋吉小学校や秋芳中学校の体育館などをシェアして使うことを検討

敷地利用計画

- 敷地A**(秋芳体育館、秋吉公民館、秋芳図書館)の敷地利用計画
 - ・複合施設(総合支所、公民館、図書館、民間施設)：施設規模1,220㎡程度として整備
 - ・駐車場：敷地の北側、東側に駐車場を整備。駐車台数80台程度
 - ・現秋芳図書館：地域資料を保管する収蔵庫として活用することを検討
 - ・プール更衣室棟：秋芳体育館内にあるプール更衣室、シャワー室等は、体育館と共に一旦解体し、新規建て替え
- 敷地B**(秋芳総合支所、訪問看護ステーション、旧施設課)の敷地利用計画
 - ・秋芳総合支所、旧施設課解体跡地：駐車場や広場としての活用を検討
 - ・訪問看護ステーション：現状のまま利用を継続

敷地利用計画のイメージ図



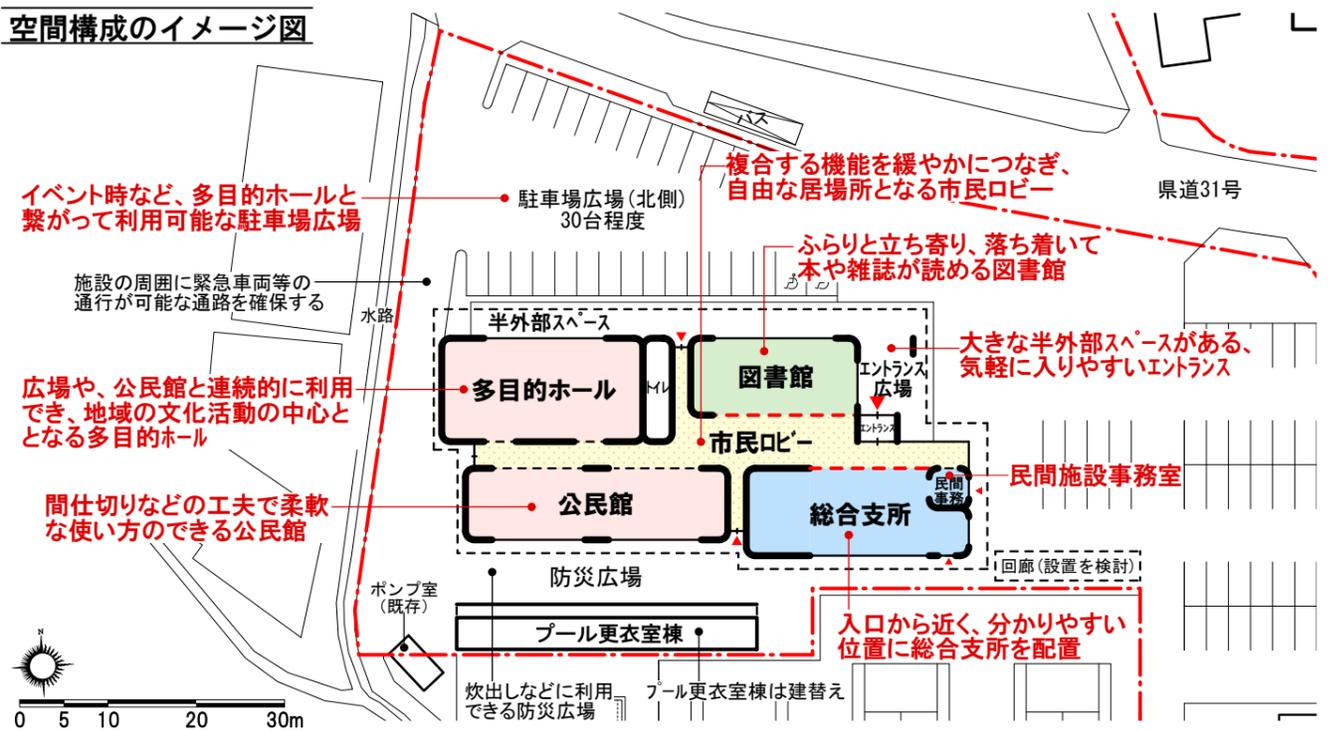
くらしの中心を担う建築のすがた

- ① 公民館、図書館、総合支所、民間施設が複合していることの利点を生かし、市民の新しい活動を支え、賑わいの中心となる建築
- ② いつも地域に対して開かれていて、みんなが普段着のまま気軽に集まれる、リビングルームのような建築
- ③ 小さくつくり、大きく使い、みんなで大事に育てていく、地域の誇りとなる建築
- ④ 子どもからお年寄りまで、すべての人に優しい建築
- ⑤ 災害時などにおいても安全、安心な、住民にとって頼りになる建築
- ⑥ 自然エネルギーを最大限活用し、環境への負荷を抑制した地球環境に優しい建築
- ⑦ 地域の木材(美秋材)の活用も含めた、柔らかく、親しみのある建築
- ⑧ 最新のICT環境の整備を進め、情報ネットワークの拠点となる建築

空間構成の基本的な考え方

市民ロビーを介して、総合支所、公民館、図書館の3つの機能が緩やかにつながる空間構成

空間構成のイメージ図



構造計画

- ・大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保を図る
- ・構造種別は、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造等を今後比較検討して決定する

環境計画

- ・自然光や自然通風、高断熱化などの建築的な工夫による環境負荷の低減を検討
- ・可能な限りの敷地緑化によりヒートアイランド現象の抑制を図る
- ・自然エネルギー、再生可能エネルギーを最大限活用する
- ・ライフサイクルコストの削減に努める

防災計画

- ・災害対策拠点および避難場所として必要な機能や設備を備える
- ・サーバー室や備蓄倉庫などが想定される浸水被害を防ぐための対策を講ずる

ユニバーサルデザイン計画

- ・すべての人が使いやすいユニバーサルデザインを徹底する
- ・分かりやすい空間構成、移動しやすい動線
- ・的確で分かりやすいサインの設置
- ・使いやすい設備

ICT環境の整備

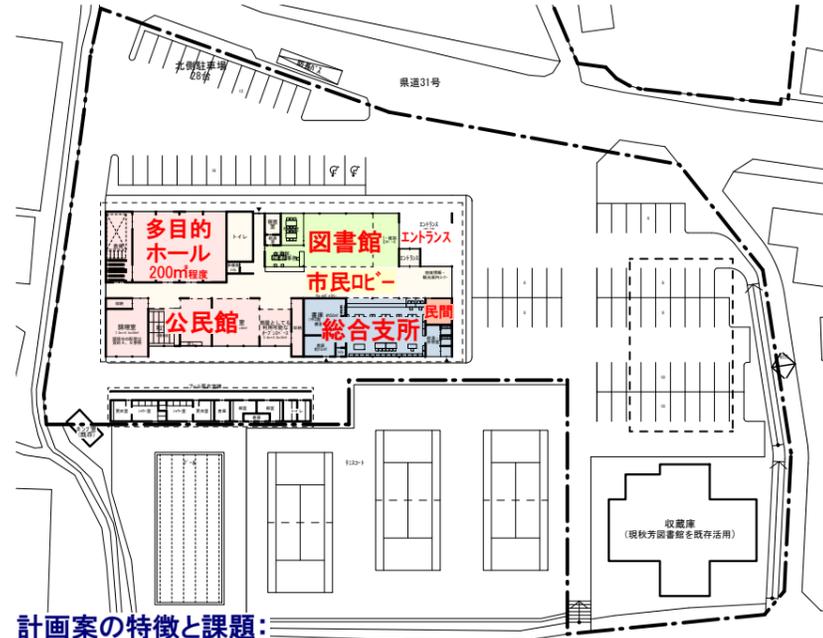
- ・最新のICT環境、IoT環境の整備
- ・美祿市役所本庁舎、美東総合支所との緊密な連携
- ・災害発生時の業務継続に対する十分な対応
- ・フリーアクセスフロア等の整備
- ・AIなどの活用を見据えた通信環境等の整備

交通アクセス計画

- ・中国JRバス秋吉駅に停留する「あんもないと号」を新総合支所の敷地内に停留するよう経路変更を検討

基本計画で掲げた目標「みんなが頼りにできるくらしの中心をつくる」を達成するために、「総合支所、公民館、図書館の3つの施設の一体的なつながりをつくる」ことを念頭に置きながら検討を進めてきました。基本計画のパブリックコメントなどで出された意見や、その後に追加された条件（多目的ホールの規模拡大、子育て広場の設置、研修室の追加、など）を反映しながら、いくつかの「基本設計素案（A～N案）」を作成しました。

A案 基本計画案



計画案の特徴と課題:

- コンパクトで、各機能のつながりがよい
- ×多目的ホールが北側にしか開かないため、イベント時に東側広場とつながって使えない
- ×市民ロビーが中廊下になっていて、開放感がない
- ×防耐火上の制限*をクリアするのが難しい

*1,000㎡以上の木造建築物は、1,000㎡以下ごとに防火壁で区画するなど、特別な措置が必要



パブリックコメント
・住民説明会の実施

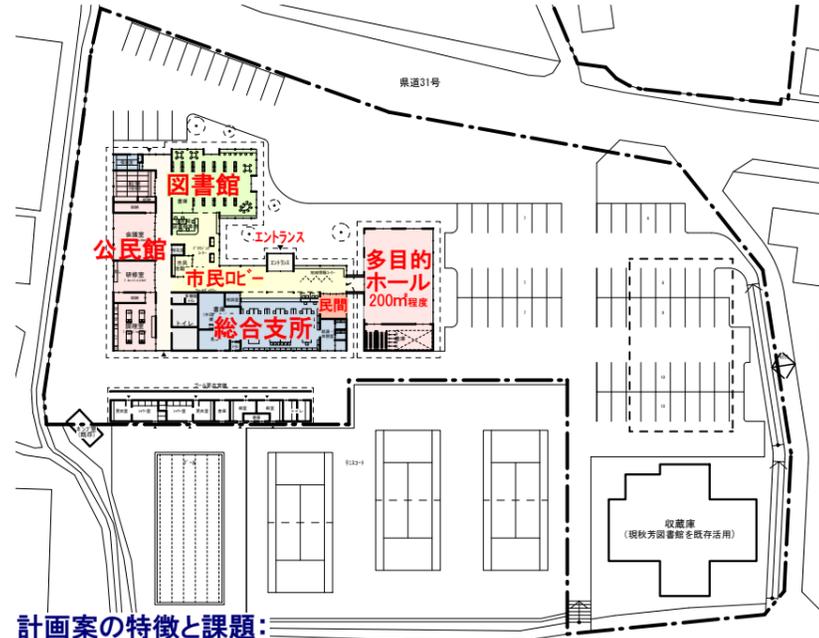
パブリックコメント、住民説明会で出された、基本計画案に対する意見のまとめ

- 1 全体面積が1,200㎡では小さい
- 2 多目的ホールが200㎡では小さい
- 3 会議室・研修室の数が足りない
- 4 避難所としての規模や役割に対して不安がある
- 5 子育て支援、多世代が集まる場所づくりへの期待
 - ・子育て広場や、子どもが遊べる場所についての要望が出された
- 6 図書館部分に対する期待と不安
 - ・図書館スペースが狭い
 - ・小さな子どもと一緒に利用できるスペース、子ども達の勉強場所、カフェの設置などへの要望が出された
- 7 商業機能との複合に対する期待
 - ・カフェ、スーパー、コンビニなどの複合を望む意見が出された

意見について検討



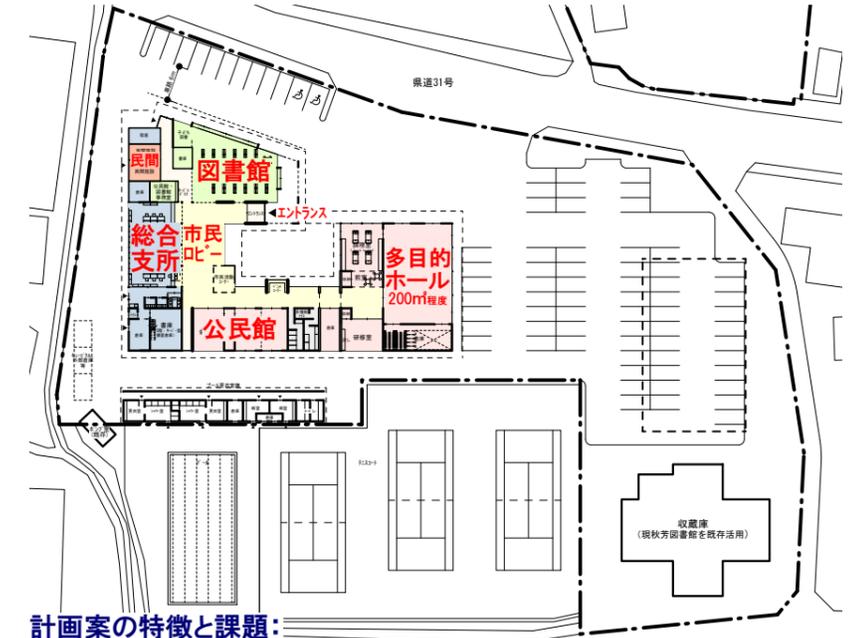
B案 多目的ホールを東側に配置した中庭型の案



計画案の特徴と課題:

- 中庭に面した市民ロビーを中心に、各機能が有機的につながる
- 多目的ホールが、敷地東側広場とつながって使える
- 市民ロビーは、外部に面した明るく開放的な空間
- 総合支所から施設全体に目が行き届く
- 防耐火上の要件をクリアしやすい
- ×公民館が西側で、多目的ホールとのつながりが悪い

F案 B案の改良案(支所、公民館、エントランス位置変更)



計画案の特徴と課題:

- B～E案を下敷き、総合支所と公民館諸室の配置を入れ替え
- 多目的ホールと調理室、研修室がつながって使える
- 図書館とエントランスが近く、気軽に立ち寄りやすい
- 総合支所から施設全体に目が行き届く
- 防耐火上の要件をクリアしやすい

新たに追加された設計条件の反映

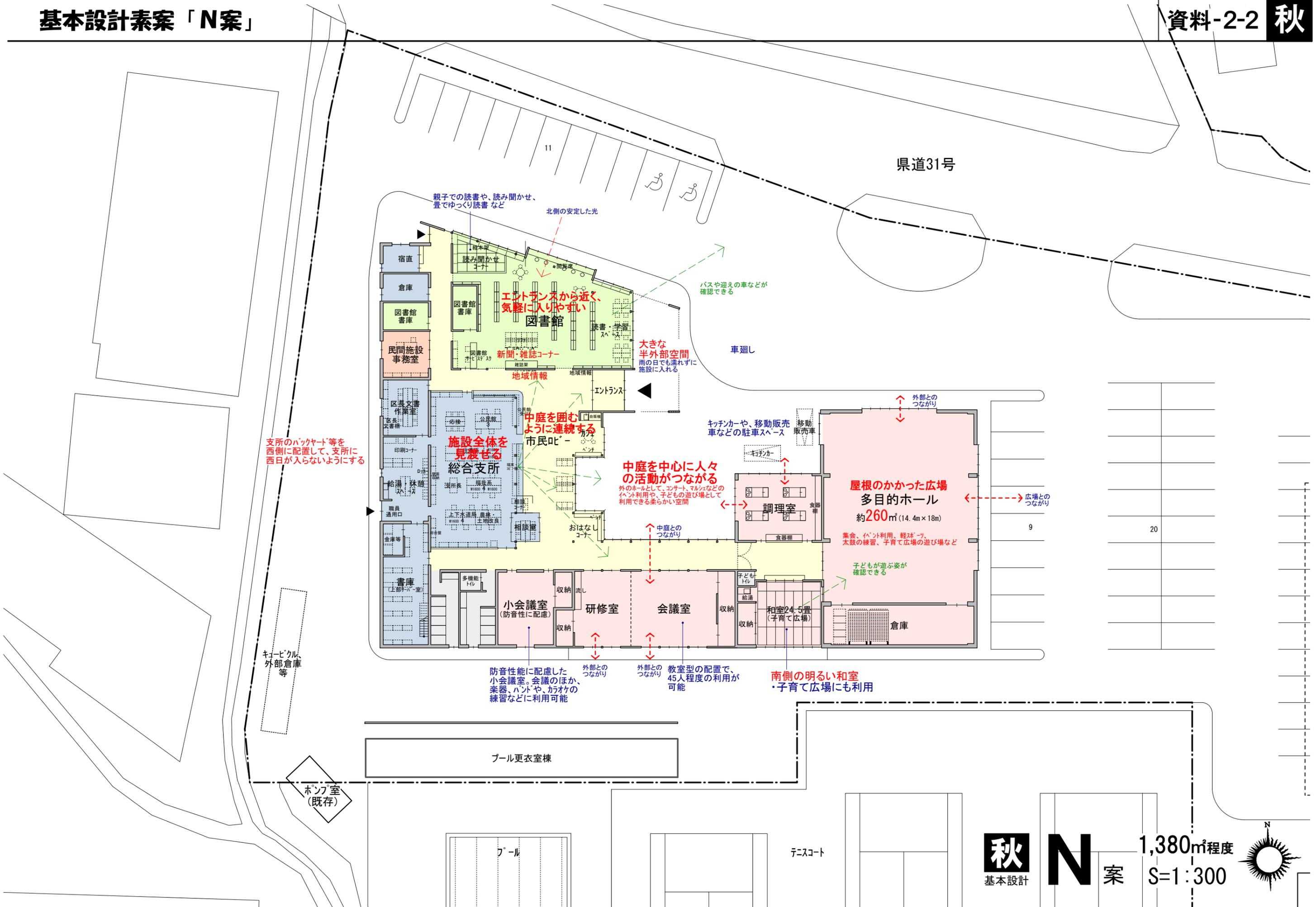
改善案の検討

N案 多目的ホールを260㎡とするなどの設計条件を反映した案



計画案の特徴と課題:

- 全体面積1,380㎡程度
- 多目的ホール260㎡程度
- 子育て広場の活動場所になる和室を設置（明るい南側とし、子どもが遊べるように多目的ホールに隣接）
- 研修室を独立した一室として設ける
- 市民ロビーの拡大
- キッチンカー、移動販売車の駐車スペース確保



支所のバックヤード等を西側に配置して、支所に西日が入らないようにする

キービジュアル、外部倉庫等

親子での読書や、読み聞かせ、置でゆっくり読書など

北側の安定した光

エントランスから近く、気軽に入りやすい

バスや迎えの車などが確認できる

大きな半外部空間
雨の日でも濡れずに施設に入れる

車廻し

中庭を囲むように連続する市民ビル

キッチンカーや、移動販売車などの駐車スペース

中庭を中心に人々の活動が繋がる
外のホールとして、コンサート、マルシェなどのイベント利用や、子どもの遊び場として利用できる柔らかい空間

屋根のかかった広場
多目的ホール
約260㎡ (14.4m x 18m)

集会、イベント利用、軽スポーツ、太鼓の練習、子育て広場の遊び場など

子どもが遊ぶ姿が確認できる

小会議室 (防音性に配慮)

研修室

会議室

和室24.5畳 (子育て広場)

倉庫

防音性に配慮した小会議室。会議のほか、楽器、バンドや、カラオケの練習などに利用可能

外部とのつながり

外部とのつながり

教室型の配置で、45人程度の利用が可能

南側の明るい和室
・子育て広場にも利用

プール更衣室棟

ホップ室 (既存)

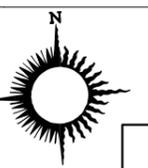
プール

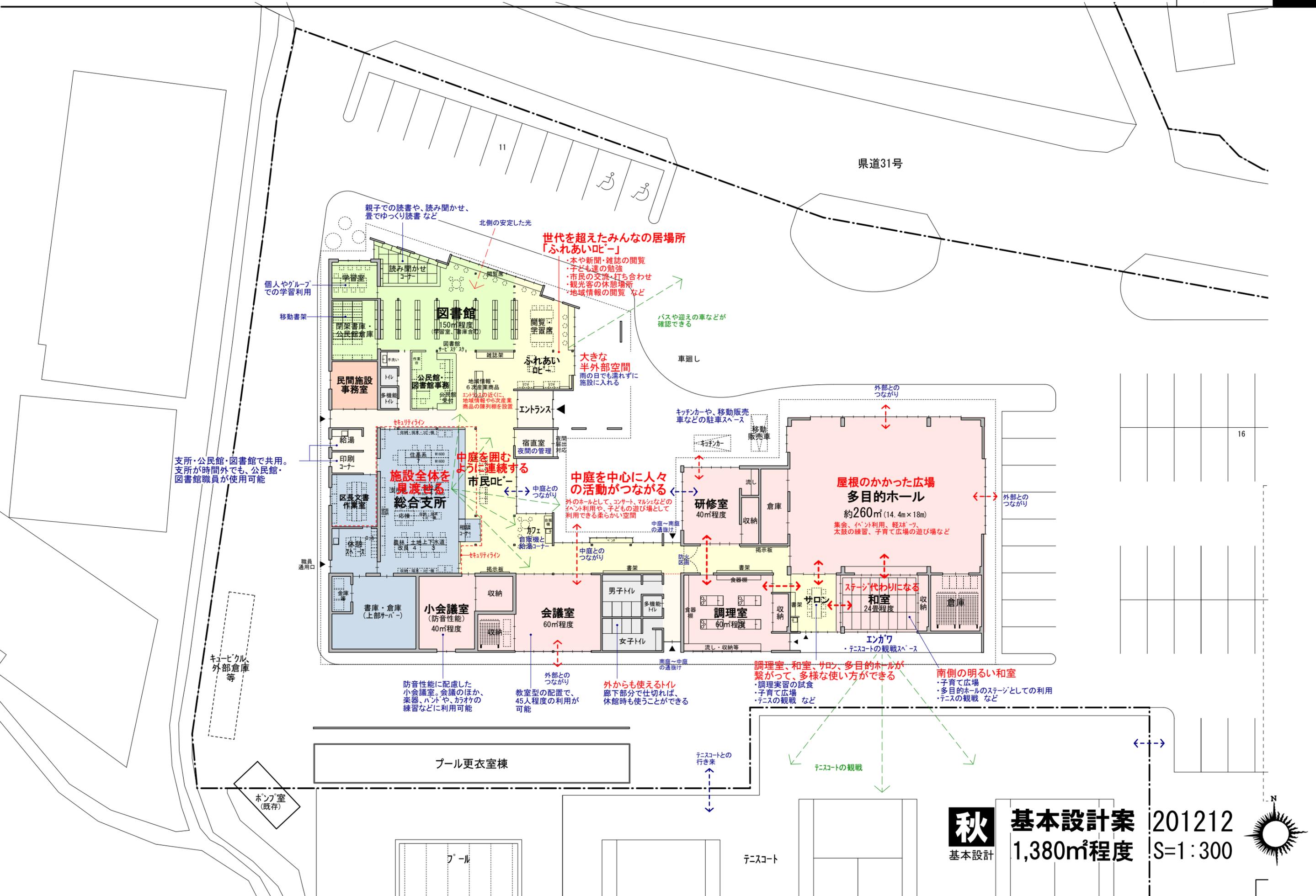
テニスコート

秋
基本設計

N
案

1,380㎡程度
S=1:300





秋
基本設計

基本設計案
1,380㎡程度

201212
S=1:300

